

ハーブティ

～女と男をかんがえる～ ハーブティ:「ハーブ (herb)」は薬草のことで、茎や葉を生あるいは乾燥して使います。これが心と体にバランスのとれたよい刺激を与えることから、女と男も互いにバランスのとれたよい関係であるように、また一杯のお茶から地域のネットワークも広がれば…という願いがこめられています。

育児を楽しむ

昭和の時代、育児は母親がするのが当たり前でした。共働きが増えた平成を経て、新たに令和の時代を迎え、主体的に子育てを楽しむお父さんが増えています。

現代のお父さんはどのように子どもと関わっているのでしょうか。

そこで、令和元年8月25日(日)に生涯学習センター「こもれびの森」1階 おはなしのへやで行われたイベント『お父さんと一緒に本を読もう!』におじゃまして関わりについて伺ってきました。



本が紹介されるたびに子どもたちは大喜び!その様子を見るお父さんたちの優しい笑顔が印象的でした。

当日参加したご家族にお話を聞いてみました。



この子が本を大好きなので来ました!

ほしやま 星山さん親子

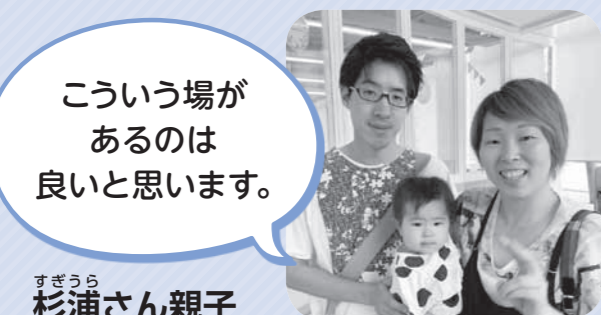
毎朝子どもにご飯を食わせているお父さん。お子さんは本が大好きということで大喜びではしゃいでいました!



今は妻の時間を作ってあげるようにしています。

いけだ 池田さん親子

休みの日はお子さんを入浴させたり、お散歩と一緒にいたりしているそうです。



こういう場があるのは良いと思います。

すぎうら 杉浦さん親子

週に1~2回読み聞かせをしているお父さん。休日はお風呂やご飯などとても協力的だそうです。



この子が可愛くてしかたがないんです。

おがわ 小川さん親子

休日は必ず読み聞かせをしているお父さん。おむつ替えや入浴など育児に積極的に関わっているそうです。



学び支援課 今泉和也主任

この『お父さんと一緒に本を読もう!』は、今年度からスタートしました。

今までのおはなし会は母子の参加が多く、もっとお父さんに参加してもらいやすい会を…と、お父さん同士の情報交換の場になればと企画しました。

布絵本や大型絵本など、図書館にはいろいろな本があります。家庭でのお父さんと子どもとのコミュニケーションツールの1つとして活用して欲しいです。



読み聞かせの効果

絵を見たり場面を想像したりすることで、感性や想像力が豊かになります。また、いろいろな世界に触れることで知的好奇心が刺激され、語彙力も育ちます。

小さい頃から親子で絵本に触れ合うと、成長してから子どもは絵本を読んで欲しいと言ってくるでしょう。絵本を読んだ後に会話ははずみ、親子のコミュニケーションもさらに深まることと思います。

読み聞かせるならどんな絵本?

小さい子は同じ表現が来るとわかっていても「くるぞ!くるぞ!!キターー!!(*v*)!!」という、繰り返しのリズムの絵本が大好きです。例えば『だるまん』『くだもの』『いないいないばあ』など。

他には、擬音、オノマトペの絵本『がちゃがちゃどんどん』『がたん ごとん がたん ごとん』や、ゲーム感覚の絵本『ミッケ』など。また、『おおきなかぶ』などの、むかし話や民話も物語りとして読み聞かせやすいです。



がたん ごとん がたん ごとん
あんざいみずる
(安西水丸著・福音館書店)

図書館にはこんな絵本も!



だるまんが
(かがくいひろし著・プロンズ新社)



いないいないばあ
(まつたに こよ著・せがわやすお 瀬川康男絵・童心社)

普段読みなれた絵本でも、大型絵本や布絵本など、図書館ではいろいろな絵本が貸し出されています。大型絵本は大迫力で子どもも大喜び♪

ボランティア団体『しらおかいちごくらぶ』により作られた布絵本は『いないいないばあ』や『おおきなかぶ』など、紙の本だと破ってしまわないか心配な小さなお子さんや、障がいのあるかたも安心して楽しめます。

編集後記

お父さんが子どもに絵本を読む…「え!?できるの!?!」と正直思いました。私と同じように思ったかたもいるのではないのでしょうか。子どもが小さな頃、夫が絵本を読み聞かせているところを見たことがなかったからです。

イベント取材してみて、今どきのお父さんは日頃から子どもに読み聞かせをしているということに驚き、そして素直に感動しました。

男女共同参画の一部『家庭生活の充実』…仕事と家庭の両立支援環境が整い、男性の家庭への参画が進むことによって、男女がともに子育てや教育に参加すること。そうです、ともに子育てに関わることの大切さと喜びを忘れてはいけなかったと思います。読み聞かせだけでなく、今しかできないことはたくさんあります。考えてみてください。今日から!

取材にご協力いただきましたご家族の皆さん、学び支援課の今泉さん、ありがとうございました。

しらおか男女共生広報紙 編集委員 さいききゆきこ ひろせはなこ わだのりこ
佐々木由規子 廣瀬花子 和田紀子